



千ヨウの誕生を観察

3年生が太陽の広場でモンシロチョウの羽化の瞬間を観察しました。さなぎの殻から懸命に外に出ようとする姿、小さく折りたたまれた羽が大きく広がる様子に、歓声と拍手が沸きました。1年生は、同時刻に教室でオンラインで視聴しました。生まれたチョウは、子ども達が空に放しました。生き物とのふれあいからは、命を尊ぶ優しい心が育まれます。



《3年生》



《1年生》

奉仕作業

8月22日(土)に奉仕作業を行いました。5月の奉仕作業が中止になったので、例年よりも多くの保護者や子ども達が参加してくださいました。役員の皆様の事前の計画も良く、草だらけの運動場が短時間にとってもきれいになり、大勢の力を集結することの素晴らしさを実感しました。同日に資源回収も実施しました。厳しい暑さの中、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

教育環境の整備

新型コロナウイルス感染症対策・学習保証等に係る支援事業により、教育委員会と協議し、体育館で使用する大型扇風機2台と冷水機2台(3～6年生の昇降口に設置)を購入しました。今後、自動手指消毒器やサーキュレーター(壁掛け用)を購入する予定です。



《冷水機》



《大型扇風機》

学校だより5月号にて紹介しました、大多喜町と包括連携協定を締結している千葉工業大学から、iPad 60台が寄贈されました。iPad を活用することで、よりきめ細かく一人一人の習熟に応じた学習を進めることができます。写真・音声・動画等のマルチメディアを用いた記録や調査、作品の制作等、学びの幅を大きく広げることできるようになり、学習意欲が高まります。また、今後、臨時休校になった場合には、6年生に優先して貸し出し、学習の定着を図ります。

文部科学省のGIGAスクール構想を受け、2021年度には、一人一台タブレット端末が使用できるよう、大多喜町では整備を進めています。



小学生天賞文庫利用ランキング

町生涯学習課の企画で実施します。令和3年2月28日までに ①来館②電話③WEBで、天賞文庫の図書を多く利用した子どもを表彰していただけます。(大多喜小・西小毎)

天賞文庫の由来

千葉県最初の公立図書館として今年で創立123年目を迎えます。大多喜町出身、東京銀座天賞堂初代店主 江澤金五郎氏の「我若し幸に成功せば、郷里は勿論国家教育上に対し公益事業を起こさん」という遺志により、明治30年、大多喜小学校内に建てられました。赤煉瓦2階建てのモダンな建物でしたが、関東大震災で大破。幾多の変遷を経て、平成元年に現在の図書館が新たに誕生しました。(大多喜町facebookより)

図書館には、約13,000冊の児童図書が整備され、優れた先人により子ども達のために継承されている読書環境です。休校中から、電話での貸し出しもできるようになっています。ぜひ、たくさん利用して、読書の楽しさを感じてほしいです。



熱中症予防のために (8月26日に配付した文書を参照してください。)

- 必要に応じて、体温上昇を防ぐための冷却タオルや、直射日光を防ぐための傘を使用させてください。
- 体育や部活動では通気性や吸湿性の良い T シャツを着用させてください。飾りのあるものは、怪我などの原因になりますので避けてください。色柄などは自由です。改めて購入しなくても、普段着用している T シャツでよいです。活用しているお子さんも増えてきています。

